

# 総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成29年度)

## 2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ④観光分野(5/6)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
国際医療交流の拠点づくり「りんくうタウン・泉佐野市域」地域活性化総合特区(大阪府、泉佐野市)	3.4	3.8 進捗度 ・国際医療交流の推進 125%  ・訪日外国人へのホスピタリティや地域魅力の向上による訪日促進 121%	3.1 規制の特例等 ・地域限定特例通訳案内士育成等事業  ・外国医師等臨床修練制度  <u>地域独自の取組</u> ・国際医療交流の拠点づくり促進補助金  ・宿泊施設設置奨励金 等	3.3	<p>・「メディカルりんくうポート」の開設、「医療通訳」の育成・配置、「まち処」への「地域限定通訳案内士」の配置等により、特区としての方向性が定まり、実績が蓄積されてきたものと評価できる。</p> <p>・地域通訳案内士の養成やホテルの誘致など外国人客の受入体制の強化は行われているが、外国人にとっての観光的魅力を増やす(観光的価値の創造)施策が見当たらない。地域通訳案内士が活躍できる新たな魅力あるコンテンツの発掘・整備が必要である。</p> <p>・地域通訳案内士の活動件数が低いにも関わらず、訪日外国人の宿泊者数と満足度の数値は向上しているため、地域通訳案内士の活動分野を特化してはどうか。</p> <p>・医療とツーリズムの連関があまり見えない。目標としての外国人医師等交流の内容がやや不透明である。また、外国人延べ宿泊者数については、特区事業との関係が明確ではない。</p> <p>・今後は、「医療通訳の費用負担のあり方の検討」、「外国人客についてきめ細かな客層分析と客層別の魅力訴求」、「隠れた観光資源としての泉州タオルの積極的な活用」を進めることが求められる。</p>